

## 塾生のみなさんへ

当校卒業生（第7期生）で現在、千葉県公立高校教諭のK. F先生からの学習アドバイスです。高校生（特に理系志望の方）はぜひ参考にしてください。

### 0. 自己紹介

自分は中学1年から高校3年まで駿光アカデミーで勉強していました。現役で工学院大学建築学部合格し、進学したものの、高校のときに勉強していた物理のおもしろさにとりつかれ、仮面浪人しながら1年間塾長のサポートをうけつつ自宅で勉強し、東京理科大学物理学科に入学しました。今考えると中学1年から高校3年まで駿光に行っていたので、浪人時に予備校に行く必要性がなかったのかもしれませんが。「予備校に行かないで良く勉強できたね」と言われますが、予備校に行かなかった理由はいろいろあります。

まず予備校に何をしに行くのか分からなかったのも、予備校に行きませんでした。皆さん予備校に何をしに行きますか？自分が予備校に入った場合、何をしに行くかというところ、おそらく、板書を写しに行くだけでしょうね(笑)。自分は字を書くのが遅いので、たぶんノートを写すだけでその日1日が終わるでしょう。

次に予備校に行っても自分の場合、授業中に手を挙げて先生に質問なんて間違ってもしません。おそらくノートをひたすら取って終わり。

最後に予備校の先生の講義は、難易度の高い問題を中心に行いますので、授業をただ聴いているだけでは理解できないものがほとんどだと思います。理解できないものは結局自分で納得するまで解き直す必要があります。時間かかりますよね。予備校の授業時間、通学時間以外に復習する時間を確保できますか？つまり私の場合、予備校の授業についていけないと思ったからです(笑)。

皆さんが予備校に行こうというのを止めるつもりはありませんが、少しは予備校に何をしに行くのか考えた方が良く思うのです。

## 1. 勉強時間は受験の時間に合わせる

正直に言って自分は深夜に勉強している方が進みも良く、より勉強している実感がありました。何より周りが静かです。しかし、実際の受験の際にはテストは深夜にないので、その時間に勉強が最もでき、頭が冴えても意味がありません。よって、自分の場合は朝9時から夜8時までに脳が働くようにコントロールするために、その時間帯に勉強をしました。

## 2. 勉強する日と楽しみ

自分は毎日勉強しませんでした。なぜなら、結局集中して勉強しないと意味がないからです。右の表は浪人時の一週間の大まかなスケジュールです。

(数学や物理は意図的に勉強時間を区切っていません。)

1日ぐらい勉強のことを考えずにリラックスする日を設けて、勉強する日も「次の日曜まで頑張ろう!!」というように楽しみを持つといいと思います。そのほかにも、「今日は〇時から見たいテレビがあるからそれまで勉強を頑張ろう!!」とその日そ

の日に自分にとって楽しみを持つことで勉強も頑張れるようにすることが大切だと思います。なぜなら、受験勉強は1カ月や2カ月ではなく長丁場となります。受験勉強を始めてすぐはモチベーションも高く『絶対合格してやる』という気持ちでしょう。そのモチベーションが長続きする人はいいですが、自分の場合は長続きしなかったため、毎日楽しみを設けることで、勉強をがんばりました。

皆さんも何か好きなことがあると思いますので、自分を追い込むだけでなく、自分にご褒美をあげてもいいんじゃないですか!?の方が効率が良かったりします。

次に自分の受験時の勉強方法について紹介します。英語に関しては確実に参考にならないので、塾長におまかせするとして、物理や数学に関しての勉強方法とその考え方を紹介します。

	月～土	日
9:00	英語	自由時間
11:00		
20:00	数学と物理	
	+	

### 3. 1日に勉強する問題の量は数学と物理合わせて多くても4問

「勉強とは何だと思えますか？」これに関していろいろな答えがあると思えます。ちなみに、自分は次のように考えて受験勉強をしました。

#### 勉強とは

わからないことをわかるようにする。もしくは、解けない問題を解けるようにすることだとして受験勉強をしました。

勉強する問題が4問とは、解けなかった問題を4問解けるようにするという意味です。なぜなら、初めて見る問題を解いて解けた場合、その問題を受験本番で解いてもおそらく解けるでしょう。仮に違いが出るとすると解くスピードが変わる程度です。つまり、受験で合格するには**いかに解ける問題を増やすか**が大切で、そのためには解けない問題を解けるようにすることが何より大切です。

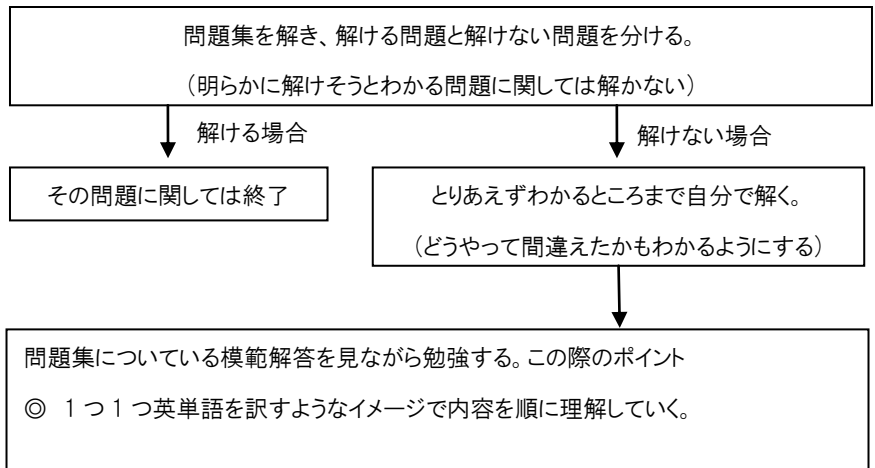
よって、問題集を見て、これは簡単だとすらすら解けてもあまり意味がありません。自分にとっては半分ぐらい解ける問題集が理想でした。全く解けない問題集では正直落ち込みますので、解けたり解けなかったりする問題集が自分にはベストだと考えました。

### 4. ノートは自分にとって最高の模範解答にする。

解ける問題に関してはほとんど復習する必要はありません。勉強していて矛盾が生じたときに復習する程度でよいのです。

解けない問題に関しては大いに復習する意味があります。なぜなら、再度その問題を解いた際に解けない確率が高いからです。よって、自分の場合は解けない

[数学・物理の勉強の流れ]





## 5. 模範解答はあくまで模範であり、

その解き方を本当に入試本番で思いつけるかを考える。

---

問題集や参考書にのっている模範解答で必ずしも解く必要はありません。なぜなら、物理や数学は答えは1つですが、解き方は人によって違います。自分に合った解き方や納得した解き方をしないと、結局テストでは使えませんし、テスト本番で自分が納得できない解き方をして、できるとは到底思えません。つまりテストで問題を解けるようになるために勉強していますので、その解き方がいかに良いものであり、計算量が少なかったとしても、テスト本番で思いつけなかったら0点です。よって、同じような問題がテストで出た際にその解き方を思いつけるか、また実際に解けるかを常に意識しながら考えて勉強すると良いと思います。

## 6. 問題文を読めているか考える。

---

物理や数学の問題が解けないとき、実は問題文が読めていないことが多いです。参考書や専門書もそうですが、日本語で書いてあるので、簡単に読めてしまう錯覚に陥ることが多々あります。しかし極端な話、問題文が英語で書いてある場合、何を言っているか隅々までしっかり考えて読まないで解けませんよね。物理も数学も問題文の条件をすべて使用しないと答えが出ません。つまり問題文には無駄な部分がないので、隅から隅までしっかり把握しないと問題は解けません。よって勉強する際には一文一文、一単語一単語の意味をしっかりとらえる必要があります。

## 7. 数学と物理の勉強時間

---

数学や物理の勉強は基本的に時間で区切ることが難しいと思います。問題によっては理解するまでに半日かかる問題もあれば1時間もあれば理解できる問題もあります。1問しか勉強できない日もあれば5問程度の内容が理解できる時もあります。したがってなるべく区切り良く終わるように問題に取り組みました。自分の場合1問を理解するのに数学の場合1時間、物理の場合2時間と見積もり、勉強しました。そして勉強は夜8時までしか基本的にやらないので、余った時間は問題演習を行い、『できた問題』『できない問題』に分けました。

以上、私の思いつくままに書いてきましたが、あくまでこれらは私の勉強法です。数学、物理を受験科目にする皆さんは受験までの期間、とにかく数多くの問題をこなしてください。また直前期以外は一問一問にじっくり取り組んでみてください。思い返せば私も受験生のころは朝まで考えても問題が解けず、「解答を見たら自分の負けだ」と考え、2～3日考えたこともありました。さすがにこれは効率が悪いのでおすすめしませんが、今の時期は「考える」ということを大切にしてください。皆さんの健闘を祈ります。